

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	人権思想の根源 (Root of Human Rights)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	人権をめぐる諸問題——身体から政治まで——		
担当者名 (Instructor)	嶽本 新奈(TAKEMOTO NIINA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

人権思想についての歴史と知識を学び、現代社会における多様な不平等と差別の諸問題について自ら考える力を養う。

Students will learn the history and knowledge of human rights thought and develop the ability to think about the problems of diverse inequality and discrimination in modern society.

授業の内容(Course Contents)

「人権」は普遍的な概念とされるが、主に白人男性たちによって創案された成立当初は「女性の人権」が除外されていたことはとても有名な話である。本講義では、まず「人権」の歴史的経緯を把握したうえで、現代社会における具体的な諸問題を取り上げ、各問題と人権思想がどのように交差し、人権思想がいかなる展開をしてきたかを概観する。また本講義を通して、日常生活では見えにくい(とされる)社会的な不平等や差別の問題について鋭敏な感覚と想像力を培う。

Although “human rights” is considered to be a universal concept, it is very famous that “human rights of women” were excluded at the beginning of the process, which was mainly invented by white men. In this course, after first grasping the historical background of “human rights,” we will take up specific problems in modern society, and give an overview of how each problem intersects with human rights and how human rights thought has developed. Through this course, students will develop a keen sense and imagination about the issues of social inequality and discrimination that are (said to be) difficult to see in everyday life.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション: 人権概念の歴史
2. 人権と女性の権利の展開(1)
3. 人権と女性の権利の展開(2)
4. リプロダクティブ・ヘルス/ライツと自己決定権(1)
5. リプロダクティブ・ヘルス/ライツと自己決定権(2)
6. しょうがいと人権(1)
7. しょうがいと人権(2)
8. 社会的マイノリティと人権(1)セクシュアル・「マイノリティ」について
9. 社会的マイノリティと人権(2)エスニック・「マイノリティ」について
10. 労働と人権(1)
11. 労働と人権(2)
12. グローバリゼーションと人権(1)
13. グローバリゼーションと人権(2)
14. 人権思想の可能性

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

必要に応じて授業時に準備学習について提示する。毎回、リアクションペーパーの提出を課す。

成績評価方法・基準(Evaluation)

毎授業時のリアクションペーパー(40%) / 第1回ミニレポート(30%) / 第2回ミニレポート(30%)
締切を過ぎてのリアクションペーパーの提出は受け付けない。事情がある場合は担当教員に必ず連絡をすること。

テキスト(Textbooks)

授業時にプリントを配布する。また、適宜、参考文献や時事的記事を紹介する。

参考文献(Readings)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)